

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	企画総務部(危機管理局)
	02048-1	災害対策事業	室名	危機管理室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	05:防災力の強化	務	款 総務費
	施策の方向	02:危機管理体制の充実	科	項 総務管理費
戦略プロジェクト		目	目 災害対策費	

② 目的・概要	対象	市民
	目的・概要	発生が危惧されている南海トラフ地震による被害が広範囲に及ぶこと、また当市は河川や山間部が多く、孤立地域の発生も懸念されることから、防災行政無線をはじめとする、通信手段の充実及び維持管理のほか、避難者の備蓄食糧を充実し、防災・減災に対する強化を図る。 また、市民が災害発生時において安全かつ迅速な行動がとれるように亀山市防災マップ・洪水ハザードマップを改訂し、周知を図る。

		24年度	25年度	26年度		
③ 指標	活動	① 名称 防災対策に要する事業	計画値			
		補足 防災行政無線の保守、衛星携帯電話手段等の維持、備蓄食糧の確保及び防災マップの改訂等	実績値	26,984	26,624	21,873
			単位	千円	千円	千円
	成果	② 名称	計画値			
		補足	実績値			
			単位			
① 補足	名称 危機管理対策に要する保守、備蓄品の購入等	計画値				
	執行率	実績値	93	97	92	
		単位	%	%	%	

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績				○通信手段等、危機管理対策に要する保守等 ○総合防災訓練 ・平成26年10月12日 ・関B&G海洋センター ・参加者約350人 ○備蓄食糧の購入等 ・アルファ米 6,000食 ・乾パン 3,000食 ・飲料水 9,000ℓ ・乳幼児用ミルク 1,200食 ○防災マップ・洪水ハザードマップの各世帯配布(市広報同時配布) ・印刷 23,000部 ・自治会配布 15,430部 ・事業所配布 2,640部				
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	7,402	平均給与額×③
		事業費		23,792	21,873	一般職員人件費 ②	7,402	
		国庫支出金				所要人員 ③	1.00	
		県支出金		105	104	臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤		
		その他				受益者負担率	0.0%	
	一般財源		23,687	21,769				
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
	総人件費		①	7,402				
	総コスト		⑥	29,275				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	速やかに「防災・減災」に向けた活動に取り組めるよう、通信機器等の維持管理に努めた。また、災害時における被災者に対する救援物資について、消費期限等を勘案し平成26年度計画分を購入し、有事に備えた。さらに、防災マップ・洪水ハザードマップを各世帯に配布するとともに「かめやま出前トーク」にて活用した。これらの事業展開、推進により、地域防災力の強化につながった。	総合判定
			A 順調に進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	亀山市総合防災訓練や通信機器の保守等継続的な事業は計画どおり終えたが、総合的な災害情報伝達システム構築のため、戦略プロジェクトで策定した報告書も含め、その手法をまとめる必要がある。また、防災マップの活用については広く市民に周知しつつ、災害時において、要援護者を守る(支援する)体制も構築する必要がある。
	【改善の方向性】	災害時における情報収集・伝達が重要であることから、平成26年度に策定した総合的な災害情報伝達システムの構築に向けたビジョンを基に具体的に進める。また、防災マップの活用については、かめやま出前トーク等の機会を捉えて行う。さらに、災害時要援護者対策として、災害発生時において高齢者・障がい者等に対し、支援を的確に行うため、地域でサポートする体制づくりを進める。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 危機管理室長 坂 裕哉
--------------	---------	----------------------